

令和7年度

第1回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書課

1 アンケートの概要

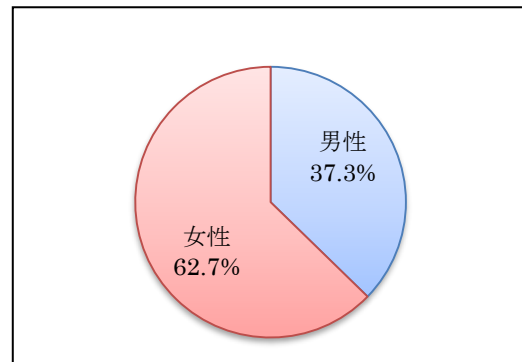
調査対象者	令和7年度 市政モニター 177人
調査期間	令和7年7月1日（火）～令和7年7月15日（火）
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	① 新居浜市に力を入れてほしい政策について ② 地区別人権教育市民講座について
回答率	

テーマ	モニター数（人）	回答者数（人）	回答率
①	177	163	92.1%
②	177	140	79.1%

2 市政モニター内訳（※令和7年7月1日時点）

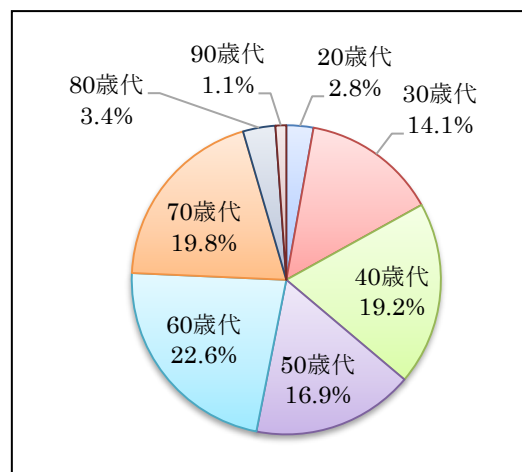
＜性別＞ （単位：人）

男性	66 (37.3%)
女性	111 (62.7%)
合計	177 (100.0%)



＜年代別＞ （単位：人）

	男性	女性	合計
20歳代	2	3	5 (2.8%)
30歳代	8	17	25 (14.1%)
40歳代	9	25	34 (19.2%)
50歳代	8	22	30 (16.9%)
60歳代	15	25	40 (22.6%)
70歳代	18	17	35 (19.8%)
80歳代	4	3	6 (3.4%)
90歳代	2	0	2 (1.1%)

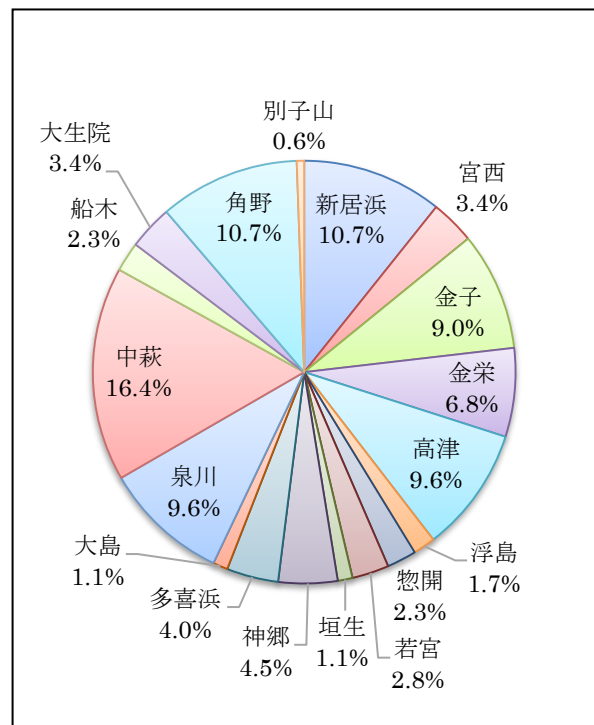


※年齢は令和7年4月1日時点

＜居住地域別＞

(単位：人)

	男性	女性	合計
新居浜	8	11	19 (10.7%)
宮西	1	5	6 (3.4%)
金子	8	8	16 (9.0%)
金栄	0	12	12 (6.8%)
高津	10	7	17 (9.6%)
浮島	3	0	3 (1.7%)
惣開	1	3	4 (2.3%)
若宮	1	4	5 (2.8%)
垣生	1	1	2 (1.1%)
神郷	5	3	8 (4.5%)
多喜浜	2	5	7 (4.0%)
大島	1	1	2 (1.1%)
泉川	6	11	17 (9.6%)
中萩	10	19	29 (16.4%)
船木	1	3	4 (2.3%)
大生院	4	2	6 (3.4%)
角野	3	16	19 (10.7%)
別子山	1	0	1 (0.6%)



＜回答方法 種別＞

(単位：人)

郵送モニター	55 (31.1%)
Eメールモニター	122 (68.9%)
合計	177 (100.0%)

＜選任方法 種別＞

(単位：人)

公民館推薦	45 (25.4%)
公募	132 (74.6%)
合計	177 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

3 調査結果

テーマ① 新居浜市に力を入れてほしい政策について

【調査趣旨】

本市では、第六次新居浜市長期総合計画（令和３年度～令和１２年度の１０年計画）に基づき、様々なまちづくりを進めています。

今年度（令和７年度）は計画の中間年となることから、近年の社会情勢の変化や最新の取組方針等を踏まえ、計画の見直しを予定しています。

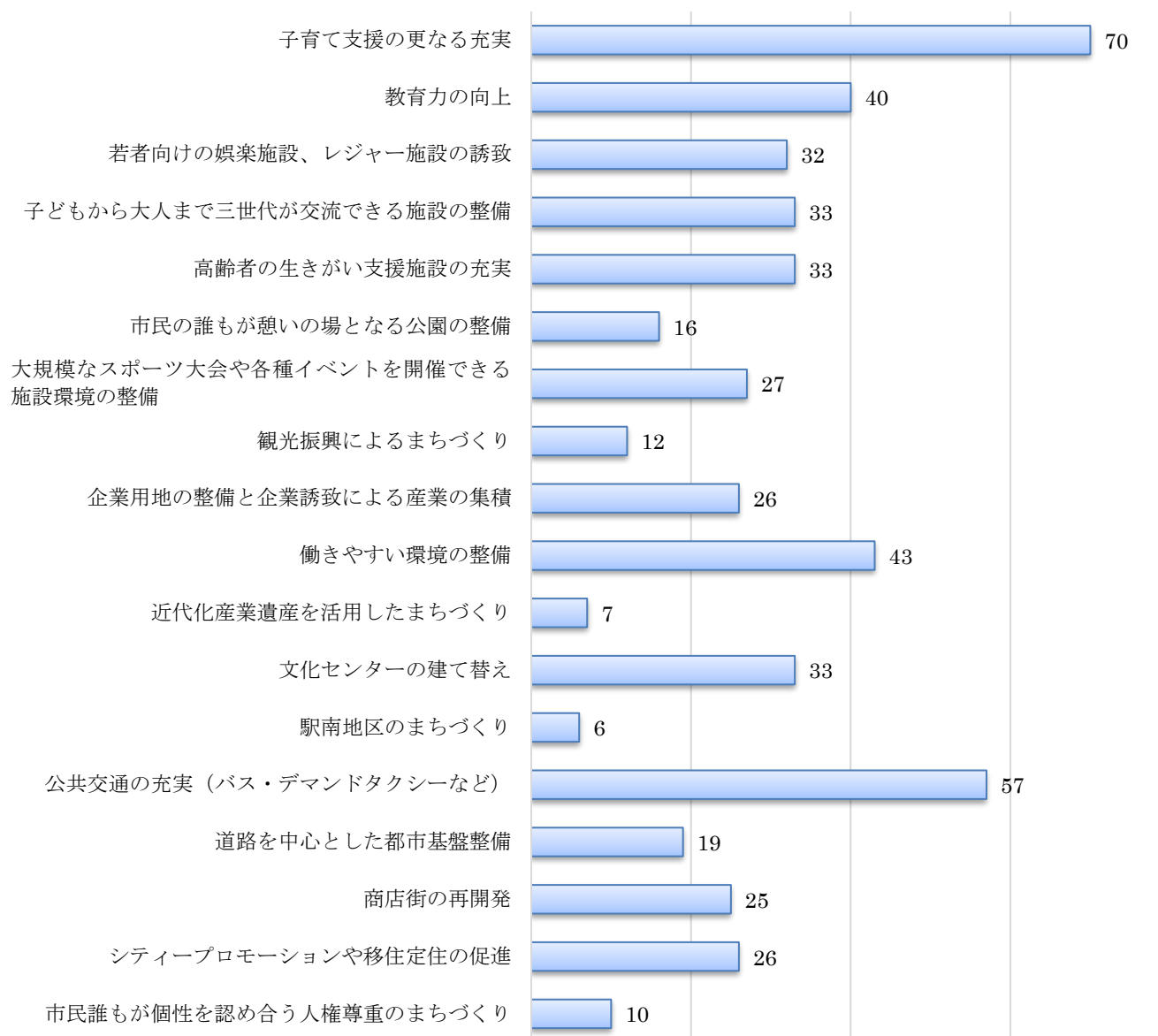
計画見直しの参考意見として、「本市が力を入れるべき施策」や「早期に実現してほしい市長公約」について、皆様のお考えをお聞かせください。

（担当課：総合政策課）

（※問１はモニター属性特定のための設問であり、省略）

問２．今後、新居浜市は、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか？（優先度が高いと感じるものを３つまで選択）【必須】

１．子育て支援の更なる充実	70 人
２．教育力の向上	40 人
３．若者向けの娯楽施設、レジャー施設の誘致	32 人
４．子どもから大人まで三世代が交流できる施設の整備	33 人
５．高齢者の生きがい支援施設の充実	33 人
６．市民の誰もが憩いの場となる公園の整備	16 人
７．大規模なスポーツ大会や各種イベントを開催できる施設環境の整備	27 人
８．観光振興によるまちづくり	12 人
９．企業用地の整備と企業誘致による産業の集積	26 人
１０．働きやすい環境の整備	43 人
１１．近代化産業遺産を活用したまちづくり	7 人
１２．文化センターの建て替え	33 人
１３．駅南地区のまちづくり	6 人
１４．公共交通の充実（バス・デマンドタクシーなど）	57 人
１５．道路を中心とした都市基盤整備	19 人
１６．商店街の再開発	25 人
１７．シティープロモーション（地域のイメージ向上やブランドの確立を目指し、地元経済の活性化などを目的とした宣伝・広報・営業活動のこと。）や移住定住の促進	26 人
１８．市民誰もが個性を認め合う人権尊重のまちづくり	10 人



今後、新居浜市が力を入れていくべきことの中で優先度が高いと感じるものとして最も多く選択されたのは、「１．子育て支援の更なる充実」で70人でした。次いで多かったのは「１４．公共交通の充実（バス・デマンドタクシーなど）」で57人、「１０．働きやすい環境の整備」で43人という結果となりました。



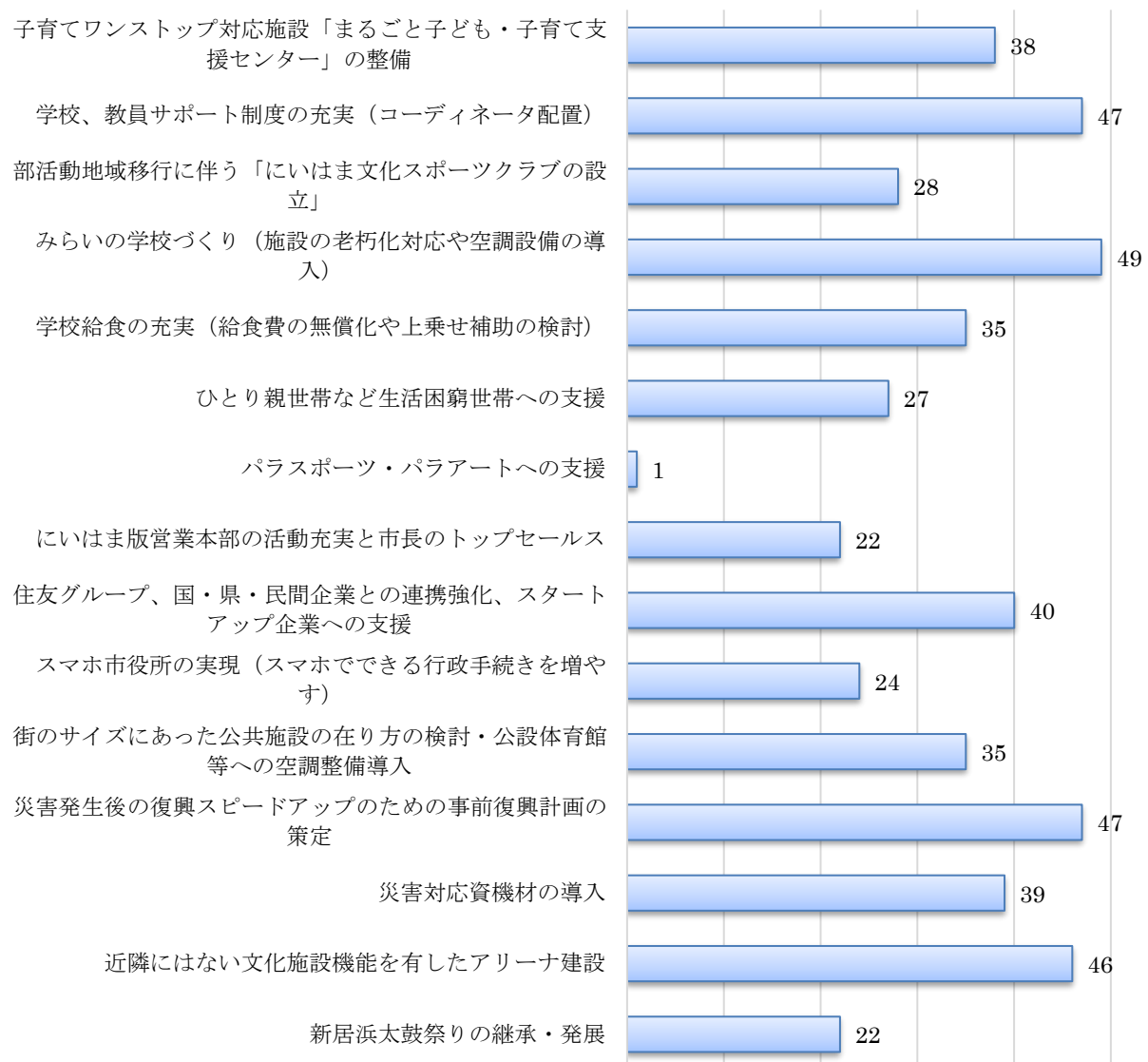
©NPO 法人新居浜まちゅり隊

問3. 次の項目は、古川市長が公約として掲げている取組の一部です。この中で、早期に実現してほしいと思う項目に○をつけてください。（早期に実現してほしい公約を3つまで選択）【必須】

1. 子育てワンストップ対応施設「まるごと子ども・子育て支援センター」の整備	38 人
2. 学校、教員サポート制度の充実（コーディネータ配置）	47 人
3. 部活動地域移行に伴う「にいはま文化スポーツクラブの設立」	28 人
4. みらいの学校づくり（施設の老朽化対応や空調設備の導入）	49 人
5. 学校給食の充実（給食費の無償化や上乘せ補助の検討）	35 人
6. ひとり親世帯など生活困窮世帯への支援	27 人
7. パラスポーツ・パラアートへの支援	1 人
8. にいはま版営業本部の活動充実と市長のトップセールス	22 人
9. 住友グループ、国・県・民間企業との連携強化、スタートアップ企業（新しいアイデア・技術によりビジネス創出を目指す企業）への支援	40 人
10. スマホ市役所の実現（スマホでできる行政手続きを増やす）	24 人
11. 街のサイズにあった公共施設の在り方の検討・公設体育館等への空調整備導入	35 人
12. 災害発生後の復興スピードアップのための事前復興計画の策定	47 人
13. 災害対応資機材の導入	39 人
14. 近隣にはない文化施設機能を有したアリーナ建設（スポーツやライブ、文化芸術活動、市民団体のイベントなど多目的に活用できる施設）	46 人
15. 新居浜太鼓祭りの継承・発展	22 人



©NPO 法人新居浜まちゅり隊



市長が掲げる公約の中で、早期に実現してほしいものとして最も多く選択されたのは、「4. みらいの学校づくり（施設の老朽化対応や空調設備の導入）」で49人でした。続いて「2. 学校、教員サポート制度の充実（コーディネータ配置）」、「12. 災害発生後の復興スピードアップのための事前復興計画の策定」が同数で47人でした。

問4. 問4～問10は長期総合計画のまちづくりの7つの分野についての質問です。ご意見がある分野に自由に意見をご記入ください。特にない場合は空白で構いません。長期総合計画ではまちづくりを7つの分野に分類し、各種施策を推進しています。「まちづくりの目標1 未来を創り出す子どもが育つまちづくり（子育て・教育）」に関連する市の取組について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【 教育費・給食・物的支援の無償化・充実 】

- ・今後も無償化の対象となる項目（主食費等）を増やしてほしい。（予算にもよるが）
- ・義務教育の給食費をなくしてほしい。
- ・給食の無償化を望みます。
- ・学校給食の質の向上を要望させていただきます。育ち盛りの子どもたちに からあげ 1 個は可哀想すぎます。
- ・保育園のことですが、3 年保育からは白ごはんを自宅から持って行かなくてはいけない園があると聞きました。白ごはんも保育園で用意できたらよいのではと思います。
- ・子供が優秀なのにお金がなくて、高校や大学に行かせられない人に対して、お金を援助する制度を設けてはどうでしょうか。
- ・中高生の英語検定取得費用の援助（合格したら費用分補助など）

【 教育の質・体制への提言 】

- ・教育費をできるだけ負担がないように援助する、安全・安心の教育環境の整備のためにも、学校・家庭や地域のかかわりがもっと必要。
- ・書く力や本をめくることが大切です。バランスのとれた教育を望みます。特に学校教育の現場で子供達を見ている先生方からのご意見を大切に聞いて欲しい。
- ・少子化である今だからこそ…平等に学びたい子が学べる環境を整えていくうえで…外部の支援者を市の方で雇い学校に導入して行って欲しいです！
- ・学校の制服を無くしてほしい。経済的負担や多様性への配慮の観点から。
- ・教育に力を入れた独自の取り組みをしている地域へ移住する人がある。新居浜独自を模索して魅力的な教育を。

【 施設・設備・環境の整備 】

- ・学校の老朽化が進んでいるため、順次建て替えをしていただきたい。
- ・体育館に冷暖房機器をつけてほしい。
- ・子ども達が安心して遊べる遊具のある公園が少ないと感じます。
- ・クールスポットの設置や自動音声による定期的な給水の呼びかけ等…暑くても利用を促進できる設備の設置を。
- ・中学校図書室に司書を配置してほしいです。
- ・森の幼稚園のような自然をフル活用した幼児教育を。
- ・子供や親が息抜きのできるようなレジャー施設を増やしてほしい。

【 子育て支援全般・制度・相談環境 】

- ・子育ての悩みなどを相談できる場所をいつでも行けるよう周知してほしい。
- ・子育て支援の対策が他の市に比べて手薄だと感じます。
- ・子育てや教育に関わる人材の確保が急務。
- ・子育てにはお金がかかります。児童手当からさらに市として子ども一人当たり手当を出すように。

- ・子育てや教育も大切だが、どうやって新居浜で子どもを産んでもらえるか…を先に考えるべき。
- ・子育てしやすい街になると嬉しいです。
- ・子どもが増えるような対策も必要。

【 学校教育の工夫・特色づくり 】

- ・小学校から個人のレベルに合った教育体制づくり。
- ・子供に合わせた教育（授業）。できない子はずっとできないまま、できる子は授業中座っているのが苦痛。
- ・学力に対してはとても開きがある。ついていけない児童にも、勉強は楽しいものとなる教育を。
- ・体験型学習の少なさ。あかがねミュージアム等で都会と同様の展示会を。
- ・松山市の教育型学童クラブのような総合的な取り組みを。
- ・普通科の高校が減っている現状に対応し、進路を限定せずを選べる教育体制を望む。

【 子どもの遊び・交流・地域参加 】

- ・子どもが安心して遊べる公園が市の中心に少ない。
- ・のびのびと遊ぶことができる公園があればと思います。
- ・子どもがのびのびと安全に参加できるイベントがあるといい。
- ・自治会や地域でもっと子どもたちと地域の人との交流が盛んになると良い。
- ・下校時の見守り隊の方がよく見られるようになりました。とても良い光景です。

【 地域や行政への提言 】

- ・PTA や各種クラブ等には参加するが、自治会は敬遠されがちで、子供の地域密着が薄れている。
- ・自治会等にも問題あるが、地域文化の継承に影響がある。
- ・子どもは未来の宝。市が率先して子育てや教育の支援を。
- ・市の教育行政が児童、生徒に寄り添っていない。原点に立ち返った取り組みを。

問5．長期総合計画ではまちづくりを7つの分野に分類し、各種施策を推進しています。「まちづくりの目標2 健康で、いきいきと暮らし、支えあうまちづくり（健康・福祉）」に関連する市の取組について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございます。本報告では回答の一部を紹介します。

【 健康づくり・健診・予防医療 】

- ・健診を無料にしてほしい。
- ・健康診断の項目の、ガン検診の無料対象者を増やして検診者数を増加させる。
- ・特定健康診断など国保の取り組み助かっています。もっとサポートいただければ嬉しいです。
- ・健康診断の充実化。
- ・健康寿命を保っていくための取り組みの強化。
- ・健康でいきいき暮らすために、会社での健康診断を会社負担してほしい（パートは対象外で負担が大きい）。
- ・ワクチンの補助などを先行して補助し、予防効果を出す。
- ・公民館等での健診の実施等充実している感はあります。
- ・救急医療の充実と医療機関の幅広い告知。

【 高齢者福祉・介護・見守り 】

- ・老老介護や独居老人など、高齢化社会でとても苦しんでいる方が多いと思われる。特に暑い夏など、体調の変化への見守りの強化が必要。
- ・高齢化が進む中、地域医療や救急体制の強化もほしい。
- ・介護保険を使っていない独居の高齢者を見守るシステムの充実。
- ・高齢者の行き場をもっと増やしてほしい。観劇、コンサート、落語などの娯楽も必要。
- ・高齢化社会に対応した独居老人世帯の見守り・保証人・看取り・埋葬・遺品整理までの制度の充実
- ・親が短期間ではあるが介護でお世話になったが、手厚い支援に感謝している。
- ・介護などの情報が少ない。相談先もわからない。
- ・介護認定をもらえない人のためにデイ・ケアのような楽しむ場を設けて欲しい。
- ・高齢者が多いので福祉施設の数を増やしたり、介護士の待遇改善を行うことが大事。

【 健康体操・運動・交流の推進 】

- ・PPK 体操は体の健康だけでなく、近所との交流で心身ともに元気になれる。もっと広めてほしい。
- ・子どもから高齢の方まで覚えられるオリジナルの健康体操を市内に広めては？
- ・高齢者だけでなく、運動不足の若い人も参加できる無料の体操教室など増やしてほしい。
- ・一人でも継続してできるスポーツへのポイントを付ける。
- ・土日誰でも参加しやすいスポーツ交流や簡単な試合を通して、健康と市民交流を促進。
- ・ラジオ体操など、子供や高齢者などが集まって行う場を。
- ・健康年齢を高める市を目指し、定期的な健康体操や測定を医療と連携して行ってほしい。
- ・健康に関心のない人も参加したくなるような親子・家族・カップルで楽しめるイベントが必要。
- ・ウォーキングイベントが単発で終わることが多く、継続性のある取り組みが必要。

【 福祉・相談・つながりの場の確保 】

- ・気軽に相談できる窓口があればうれしい。
- ・精神障害者からの被害相談窓口の設置。
- ・地域で交流できる場所（空き家などの活用）を整備してはどうか。
- ・高齢者、子育て世代、学生などが集まれる場所、そこからゆるやかなコミュニティ形成を。
- ・自治会の活性化が市の施策に直結する。自治会の疲弊を立て直す必要がある。
- ・地域の人が協力しあう場や、実行できる機会を主導してほしい。
- ・学校の行事に福祉施設との交流を自然に組み入れてほしい。

【 福祉と交通の連携・支援 】

- ・バス（路線）をサブスクにしたらどうか。高齢者の外出回数が増え、健康にもつながる。
- ・お年寄りの移動手段として、バス・デマンドタクシーの整備を強化してほしい。
- ・安心して生活できる環境の整備（買い物・通院など）。
- ・市民全員参加可能な催し物体制づくりが大切。財政面の支援も必要。

【 福祉の仕組み・市施策への提案・評価 】

- ・福祉が充実して誰もが住みやすくなるといいなと思う。
- ・色々考えて取り組んでいただいていると思う。
- ・保健センターさんが色々してくれて充分です。
- ・福祉施策は人の一生をつなぐ形で見えるようにしてほしい（少子高齢化対策がバラバラに見える）。
- ・福祉や介護、子育てが充実するなら少々の住民税負担も構わない。
- ・支援の必要性について、現場・地域で本当の意味での支援対象を見極めるべき。
- ・福祉に関する補助金カットが多い。立候補時の「人にやさしい街づくり」と矛盾。

【 その他（福祉関連） 】

- ・ 公営施設の割引制度、タクシー券の申請をオンラインでもできるようにしてほしい。
- ・ 市民が利用できるジム施設を建ててほしい。コーチも常駐し、交流も生まれるような形で。
- ・ 学校給食施設の転用などで高齢者の活動拠点に。（ウォーキング、ゲートボールなど）
- ・ アリーナ、文化センターの新設。現在の施設が古く中途半端。

問6. 長期総合計画ではまちづくりを7つの分野に分類し、各種施策を推進しています。「まちづくりの目標3 活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまちづくり（経済・雇用）」に関連する市の取組について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございます。本報告では回答の一部を紹介します。

【 雇用創出・企業誘致に関する意見 】

- ・ 企業誘致方法、場所を確保することを検討してはどうか。（すでに検討していると思いますが…）
- ・ 働く所を増やしてほしい。
- ・ 企業誘致が一番である。従業員待遇アップが活力アップにつながる。
- ・ 企業の誘致を早急に進め、雇用を増やし若者の市内定着を図る。
- ・ 大規模なショッピング施設や企業の誘致。
- ・ 積極的に企業の誘致を行ったり、インフラの整備を実施。
- ・ エネルギー、埋立（場所）、運搬道路の整備。
- ・ 活力とにぎわいに満ち、魅力ある職場とは、雇用の拡大が基本かと思います。是非雇用拡大に繋がる流通設備、ルート、工業用地等へのインフラ整備への市全体構想を作成した取組みが必須です。
- ・ 登り道サンロード近辺にもう一度、お店を集めて商店街を復活させ、夏祭りなどの風物詩を復活させてほしい。
- ・ 昔は企業が参加する街のイベントがあったが、今は個人の有志ばかり。市が主催して企業も参加する行事を開催してほしい。

【 若者・女性・高齢者の雇用促進 】

- ・ 大学などで県外へ出た女性が、地元へ帰って来られる雇用を作ることが人口減少の予防になる。
- ・ 若い方が新居浜に戻って働きたくなる環境づくりに寄与してほしい。
- ・ 女性が働きやすいフレックスタイム制のある正社員募集を増やしてもらいたい。
- ・ 高齢者を雇用する企業がもっと増えていくように市の方で働きかけてもらいたいと思う。
- ・ まだまだ元気な高齢者に働いてもらう、また学生の職場体験のあり方を変えてはどうか。

【 雇用環境・待遇に関する意見 】

- ・ 多様な働き方が認められて、それが実現できるような雇用形態を実現してほしい。
- ・ 納得して働きやすい場所が増えると嬉しいです。
- ・ 子供の体調不良時にも、気兼ねなくお休みをとることができる環境整備をしてほしい。
- ・ 働く側の、働きやすいも大事だが、自社で働いて欲しいと思えるような優秀な人材を育てる方が先なのでは？
- ・ 雇用の充実が果たされているのか疑問。住友の町と言われる新居浜市で、もし住友がいなくなったらとの危機意識はあるのか。

【 就職活動・採用に関する意見 】

- ・ 年齢理由に面接で断る前に求人に記載してほしい。

- ・息子が地元に戻り、就職希望で市の試験を受けます。未来ある若者への採用強化をよろしくお願いします。
- ・非正規雇用から正規雇用への道が開ければ、経済的にも豊かになる人が増えるのではないかな。民間に先駆けて市の会計年度職員から制度を試行してほしい。
- ・若者が就職できるまちづくりをしてほしい。

【 経済活性化・地域のにぎわいについて 】

- ・市全体が活性化しないと、お金を使いたいと思えない。（自営業・飲食業）
- ・市の財政にゆとりがないと福祉や教育も十分な取り組みができない。市民一人一人の経済的ゆとりが新居浜市の活性化につながる。
- ・コストコが新居浜に来ていれば雇用も生まれたのに残念。
- ・あかがねポイントは馴染みがなく使いづらい。PayPayのような形で「新居浜独自のあかがね Pay」のようなものを希望。お金が回る良い市に期待している。
- ・昔の昭和通り（登り道商店街）は何処へ行ったのか？
- ・駅前の開発が物足りない。もっと商業施設が固まっていればよかった。

【 労働と人づくり（教育・人材育成）への視点 】

- ・働いてもすぐ辞める若者が増えている。若いうちに働く経験をして、働くとはどんなことか体験する機会を大切にしてほしい。
- ・企業も社員の育成のやり方を、今の時代に合った形に変えてほしい。
- ・簡単なことではないが、人づくりが雇用を増やすことに繋がるのではないかな。
- ・ものづくりに特化したイベントは良かった。子どもの地域への愛着心も育つ。体験できる仕組みづくりを希望。

【 全体的な仕組み・都市戦略への期待 】

- ・活気のある街、住みやすい街、誇りに思える街にすることが経済・雇用の向上に繋がる。全分野の支柱を整え、仕組みとして噛み合う構造が必要。
- ・地元の人が集まれば、他の地域の人にも集まってくる。活気を継続すれば、点が線になり、いずれ面になる。独自の仕組みを作してほしい。
- ・行政の役割は住みやすい地域づくり。企業が進出したくなる環境、そのために人が集まる住みやすい地域にすることが重要。

問 7. 長期総合計画ではまちづくりを7つの分野に分類し、各種施策を推進しています。「まちづくりの目標 4 安全・安心・快適を実感できるまちづくり（都市基盤・防災・防犯・消防）」に関連する市の取組について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【 防災対策・備蓄・避難体制 】

- ・防災・防犯・消防を強化してほしい。
- ・防災用品を各家庭に配布・補助してほしい。
- ・防災士として防災には興味がある。防災センターで体験してみたいが一人では勇気が出ない。市政モニターなどで参加したい。
- ・市民で一致団結した行動が大切。財政面のバックアップが必須。
- ・避難所の場所の周知。市の防災グッズ販売もしてほしい。

- ・災害時に必要な施設・設備・備品を校区単位で早急に整備してほしい。
- ・市民一人一人に避難場所を割り振るなどの対応を。
- ・簡易テントの用意（1世帯に1～2個）など避難所でのプライバシー確保を。
- ・避難所となる学校や公民館の簡易ベッド・トイレ・仕切りなど、避難者のストレス軽減の備品を市が把握し、配置してほしい。
- ・小中学校の引き渡し訓練の必須化、防災センターの活用を。
- ・公共空間に2週間分の緊急物資を有料で良いので備蓄し、期限前には無償提供を。
- ・防災ラジオの補助金制度を復活させてほしい。
- ・自治会加入率の減少に対し、10～20世帯程度の小規模集合体での確認体制も有効では。
- ・防災士の各地区での育成が必要。
- ・民間防災組織を地域ごとに立ち上げ、活動内容に応じて助成金を。
- ・大きな災害が起きた時の対応について市の計画がわからない。市が先導して計画実行し、広く周知してほしい。

【 防犯・地域安全 】

- ・事件や事故が多いと感じる。自発的な防犯の取り組みが必要。
- ・団地内での盗難被害（郵便物・ベランダの野菜など）。監視カメラの設置を。
- ・不審者情報の発信をもっと積極的に。
- ・空き家の整理は防犯にもつながる。
- ・防犯はご近所づきあいの向上が大切。市が率先して地域のコミュニケーションづくりを。
- ・自治会に入ることの意義を市としてもっと説明し、危機対応のための重要性を伝えてほしい。
- ・精神障害者からの被害を相談できる窓口の設置、市長からの保護命令など対応体制を。

【 消防・消防団・訓練 】

- ・狭い道が多く、消火活動が心配。
- ・消防団の訓練に対する予算削減が次世代の育成に影響。大災害時には人手が不足する。
- ・防災・消防など整っていると思うが、今後も強化してほしい。

【 インフラ・都市基盤整備（道路・街灯など） 】

- ・生活道路の整備、事故防止のための道路標識の点検を。
- ・高専通りの植樹帯の雑草が自転車道に出ていて危険。年による調整を。
- ・河川の植物の刈り取りや堆積土砂の浚渫を継続してほしい。
- ・背の高い雑草が見通しを悪くし事故が心配。定期的なパトロールと除草を。
- ・国・県・市道問わず、予算を調整して市が一括で対応するような工夫を。
- ・11号バイパスの中央分離帯が無駄に広い。片道2車線にしてほしい。
- ・四国新幹線について、合理的なルートの検討と、現駅周辺の活用についての意見。
- ・駅前が以前より寂れている。整備や飲食店の再興を望む。

【 自治会・地域コミュニティ・共助 】

- ・ご近所同士の助け合い、コミュニケーションづくりが重要。
- ・自治会の役割や重要性を市政だより等で伝えてほしい。
- ・自治会に加入しなくても参加できるような防災取り組みの検討も必要。
- ・自治会長・連自治会長を職業化し、補助金を支給する仕組みを検討しては。
- ・防災教育を自治会ごとで進めてほしい。団結力の低下が心配。
- ・定年後に外出が減った高齢者が情報を得られる場づくりを。

【 その他提案・広報・啓発 】

- ・防災センターは良い施設。広報をもっと強化し、市の魅力としてアピールを。
- ・大きな寮がある会社・学校の寮生向けに、防災センター体験を促しては。
- ・防災に関する情報や備えについて、定期的に公開して安心を高めてほしい。
- ・今治の山火事のような災害に対するシミュレーションがあるか知りたい。開示してほしい。

問 8. 長期総合計画ではまちづくりを 7 つの分野に分類し、各種施策を推進しています。「まちづくりの目標 5 人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまちづくり（人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ）」に関連する市の取組について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございます。本報告では回答の一部を紹介します。

【 協働・地域コミュニティに関する意見 】

- ・自治会加入率が低下している。コロナの影響で地域行事が減ったのも原因。ゴミ問題等、市全体で取り組む方法があれば良い。
- ・様々な団体が手を取り合って共に目標達成に向かう形が具現化するようサポートしてほしい。
- ・協働については、市と市民との協働が予算削減に伴い機会が減少している。少ない予算でも成果を生むよう知恵を出して協働の場を広げてほしい。
- ・市民の活動をサポートする仕組みや組織が必要。得意分野の愛好家やボランティアが中心となった組織を市が支援するイメージ。
- ・公民館を基盤としたまちづくり・人づくりのアイデアを持つ人を集め、プレゼン大会を開催してはどうか。

【 社会教育・生涯学習に関する意見 】

- ・生涯学習センターの活動は 60 歳以上対象なので、若い人にも学べる機会がほしい。
- ・子育て世代や若年層の生涯学習参加が少ないので工夫してほしい。
- ・学び塾が毎日あればいいのにと子どもが言っている。
- ・赤石山系の地質や高山植物について展示している「ふるさと館」に学芸員クラスの人員を配置してほしい。
- ・学び合いなど公民館の活用を進めてほしい。
- ・市内のサークル紹介は文字が小さくて高齢者には見づらい。太字や展示場所の工夫を。
- ・高齢者が参加しやすい講座を増やしてほしい。元気な高齢者が多いので楽しい企画がもっとあるとよい。

【 文化・芸術に関する意見 】

- ・あかがねミュージアムでの文化教室がなくなったのは残念。立派な施設をもっと活用して市のイベントを増やしてほしい。
- ・市民が芸術に触れる機会が少なく、マナーも課題。特に子どもが芸術に触れ合える教育機会を増やしてほしい。
- ・プロの芸術（オーケストラコンサートなど）に触れられる機会を増やしてほしい。
- ・文化センターは老朽化しており、音響などが遅れている。現代の技術を取り入れた新しい施設にしてほしい。
- ・オペラも可能な貴重なホールがあるが活用が少なく、芸術文化への理解や機会の増加を望む。
- ・文化施設を分散するより、歴史ある文化センターの立て直しで集約すべき。

- ・市民全体に関係のあることを考えた文化政策を。
- ・短期大学や文化センターを活用してコンサートなどを開催してほしい。

【 スポーツ・健康づくりに関する意見 】

- ・小中学校のグラウンドや体育館の施設開放でスポーツを楽しむ人が増え、非常に良い傾向。
- ・健康は薬ではなく、筋肉を動かして体の内側から活力を生むことが一番。
- ・本格的にスポーツをする子ども向けに、しっかりした施設（例：体操競技など）が必要。
- ・プロスポーツを呼べるレベルの施設を整備し、町の活性化を図ってほしい。
- ・市民体育館の設備や駐車場が他市に比べて劣る。フットサルなどの応援がしやすい環境を。
- ・体育館にエアコンを設置してほしい。
- ・スポーツ大会の誘致は大切である。
- ・総合運動公園のような大規模施設が必要。
- ・スポーツに力を入れるなら、サッカー場や野球場の活用や整備の検討を。
- ・夜市の復活や、キッチンカーと組み合わせた健康増進型のスポーツイベントを。
- ・Jボードやリップスティックができる環境の公園を黒島公園以外にも。

【 施設整備・活用に関する意見 】

- ・文化センター、アリーナ、市民体育館などの整備・建て替えを進めてほしい。
- ・多くの意見を聞き、将来の地域予測や財政負担などを踏まえた施設整備を。
- ・新しい施設は市民（将来の市民）のために何が必要かを考えて建てるべき。
- ・市民プールは老朽化が進んでおり、見た目や安全性の改善を。屋内化も視野に。
- ・使われていない地域のホールやスペースも有効活用してほしい。
- ・あかがねミュージアムの前に文化センターの再整備をすべきだったのでは。
- ・簡単で使いやすい施設が増えると嬉しい。
- ・市の取り組みが現状維持フェーズに見える。もっと積極的に整備を。

【 子ども・若者の育成・参加促進に関する意見 】

- ・子どもが自由に参加できるイベントを増やしてほしい。
- ・子どもがスポーツや芸術に触れる機会をもっと作ってほしい。
- ・子どもが安心して通学できるよう、7月だけでもスクールバス導入を（費用は家庭負担でも）。
- ・学び塾が毎日あるといいという子どもの声。
- ・子どもを中心に据えた社会教育や文化活動の充実を。

【 人権・道徳・市民性に関する意見 】

- ・人権も重要だが、道徳も大切。人に気を使える人、優しい市民が増えてほしい。
- ・新居浜市は人と人との挨拶が少ない。挨拶があれば孤立する人も減るのでは。
- ・人権やLGBTQについて、活動が形骸化していないかという批判的視点も。

問9. 長期総合計画ではまちづくりを7つの分野に分類し、各種施策を推進しています。「まちづくりの目標6 人と自然が調和した快適に生活できるまちづくり（地球環境・生活環境・上下水道）」に関連する市の取組について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございます。本報告では回答の一部を紹介します。

【 上下水道の整備・老朽化対策 】

- ・新居浜市では地下水を生活用水としている家庭がたくさんあるためか、下水道の整備が遅れているよう

に思う。

- ・下泉には、まだ下水道が整っていません。遅すぎると思います。
- ・市内全域に公共の下水道を通して欲しい。衛生面でも浄化槽よりも良いため。
- ・上部の下水道が通っていない地域への早急な対応を進めてほしい。
- ・下水道が通っていないことを理由に、引っ越し先を考えたりもするので、重要だと思う。
- ・下水道整備に関して、大生院地区には通らず浄化槽を埋めなければならない状況と聞いています。市内全域に下水道が通り、快適に過ごせる町であって欲しい。
- ・下水道に関して可能な限り本管接続支援希望します。
- ・現在宇高に住んでいますが、下水道が未設置で、用水路(排水)が多く暗渠されているところが少ない。洪水時には出歩くことができない。
- ・上水道に使用する、各水源の水質検査表を「毎年」市政だよりで発表してほしい。
- ・水道管の老朽化など気になります。どんな対策や点検をしているのか知りたい。
- ・全国各地で水道管の破裂や破損等が原因と見られる道路の陥没等のニュースを目にしますが、新居浜の下水道管の老朽化などの点検作業は早急に進める必要があると思います。
- ・水道の問題は劣化により破損の恐れがあるのではないかと思います。その工事をする業者もきちんと平等に公表しながら適正に選出してほしいです。
- ・水道配管の老朽化などの情報が欲しい。
- ・水道は絶対に民間にしてはいけない。利益のための大幅な値上げで人が住めない土地になる。水道管交換のための多少の値上げなら許容。

【 ゴミ・リサイクル・資源循環 】

- ・ゴミになるような物を作らないように企業に呼びかける。
- ・ゴミ分別を子供の頃から身につけさせるなど工夫をしてほしい。
- ・ゴミリサイクルの可視化。電気料金のように支払わなければ止まる、支払えば即可動するシステムの導入。
- ・他県のゴミの分別に比べると新居浜って全然分別していない。分別によって資源にできるものを明確にし、有料化から外す工夫が必要。
- ・ゴミの収集場所をねらってカラスがゴミをちらかします。黄色のネットに替えて効果が出たと聞きます。検討して下さい。
- ・私の近所ではカラスや野良犬がゴミをあさり道路に散乱しています。網が掛けられないのでゴミステーションを作してほしい。
- ・ゴミ拾いをイベント化すべき。パトロール強化も望む。
- ・スーパーなどで資源ゴミを回収してくれるのが非常にありがたい。
- ・コンポストの取り組みをもっと盛んにし、利用が増えるようさらに働きかけしてほしい。
- ・ゴミの有料化は高齢者には難しく、ゴミ屋敷になりそうな家が増えている。
- ・庭の木や草の伐採ゴミを無料で受け付けるなど、市での取り組みがあれば嬉しい。
- ・リサイクル率を上げるための方法を考えて。特に住友グループにはノウハウがあると思う。
- ・地球環境について、少しでも役に立つことがあれば、PRをして協力できる体制をつくってほしい。
- ・香川県の設備を参考にゴミ処理施設を改善する。

【 環境・自然との調和 】

- ・自然は豊かなので、このまま大切にしてほしい。
- ・地球環境問題やSDGsの考え方が、多くの市民に広がってきた。常設の拠点(例:松山市の「リックル」)

があると良い。

- ・地球温暖化の影響で、雨の降り方が激しくなっている。河川や下水道の老朽化など早めに改善してほしい。
- ・異常気象や高温化への対応として、CO2削減への取り組みは必須。
- ・空き家の庭木等が生い茂り、近隣の方が困っている。市の対応を進めてほしい。
- ・荒れ放題の空き地をどうにかしてほしい。
- ・空いた農地を貸し出す取り組みをもっと魅力的にしてほしい。食品価格高騰もあるので。
- ・犬猫の殺処分を減らすための地域猫活動、去勢手術の援助を。
- ・河川の氾濫対策を再点検してほしい。草がはえたり、ゴミがたまっている。
- ・子どもが通る通学路や学校付近の草木の手入れをして欲しい。視界不良で危険。
- ・柵で囲まれ遊具がない公園（遊び場）がほしい。小さい子の安全のために。
- ・安価なバスの便を増やしてほしい。自家用車依存の緩和につながる。
- ・市営住宅で住めない状態の物件が放置されている。整備か更地に。防犯面でも問題。

【再生可能エネルギー・設備支援】

- ・再生可能エネルギー・省エネルギー設備導入に対する支援にとっても期待しています。

【市民活動・教育・啓発】

- ・新居浜市の下水道施設を見学しましたが、すごく取り組まれていると思いました。汚物リサイクルの有効活用が進むとよい。
- ・海岸清掃をしている人に企業とコラボで帽子などを贈ると良い。
- ・環境教育や子どもが自分事として捉えられる体験を、年1回でなく定期的に開催してほしい。
- ・歩道など花や木、ボランティアなどで手入れしていただきありがとうございます。

問10. 長期総合計画ではまちづくりを7つの分野に分類し、各種施策を推進しています。「計画の推進（持続可能なまちづくりの推進・行財政運営）」に関連する市の取組について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【持続可能なまちづくりの視点からの意見】

- ・人口減少に伴い長期計画していても、ある程度柔軟にかたまらず計画を見直せることが持続可能なまちづくりにつながると考えています。
- ・新居浜で生活やレジャーが自転車や徒歩圏内で成り立つような市全体のまちづくりが必要だと思います。
- ・100年前に新居浜の将来を考えて改造計画を実行、そのお陰で今の新居浜があると思います。今まさに持続可能なまちづくりのために、これから何が必要かを市民と一緒に取り組んでいく時だと思います。
- ・人づくりとでも言うのでしょうか。根幹となるしっかりとした取り組みをひとつずつ実践し、芽が出るようにお願いします。それが持続可能につながっていると思います。

【行財政運営・財政の健全化に関する意見】

- ・市の財政は厳しいのでしょうか？そうではなくて余裕が少ないだけなのでしょうか？
- ・新居浜市の貯金です。全国平均50億程度のところ、現在はその1/3程度だそうです。市の財政が厳しいのなら、無駄なところを見直して必要なところへ回す努力をお願いします。
- ・利権を排除した「徹底した無駄の排除！」これがどこまでできるかだと思います。例えば、誰も乗って

いない大型バスの廃止とデマンドタクシーの活用。

- ・色々なことをするには原資が必要です。市民プールの値段は今の世情にはそぐわないと思います。今まで10円で、風物詩みたいになっていますが安すぎると思います。

【市の計画推進・情報公開・市民参加に関する意見】

- ・市の活動がよくわかるように、市政だよりの充実。
- ・長期総合計画「まちづくり7つの分野」の各種施策の推進、大変いいものだと個人的に感じます。
- ・具体的な取り組みを存じ上げないが、こうやって7本柱で提示されていてわかりやすい。ぜひ推進してほしいです。
- ・市政モニター員との個別説明会、意見交換会を実施してほしい。文言だけの資料を見ても理解しにくい。個別説明会の開催を強力に要請します。
- ・タウンミーティング以外にも市民の声を聞く機会を多く設けていただきたい。アメリカのドキュメンタリー映画「ボストン市庁舎」のような取り組みを期待しています。
- ・市民アンケートや公募を頻繁に行い、市民参加の街づくりを構築して欲しいです！

【産業振興・移住定住・若者支援など施策提案】

- ・優秀な人材が都市部に流出している。新居浜に骨をうずめようという人を増やすための施策を考える必要がある。
- ・市がもっと財政を豊かにする営業活動をすべき。減税ができるように。
- ・移住、定住できる町づくりをしてほしい。
- ・若者対象に起業支援を。多くの具体的な対策が必要です。
- ・未来の子ども達にかける助成は惜しまずかけてほしいです。
- ・若者が住みたくなるようなまちづくりができればいいなと思います。
- ・年中財政が安定できる目玉となる特産物を公募して見つけ、そのキャラクターも公募して決めて、それと一緒に全国に宣伝していければ良いなと思います。

【その他・気になる取り組みの停止・要望】

- ・古川市長になってから、あかがねポイントのポイントアップがなくなったのはなぜでしょうか？
- ・住友グループとの令和の共存共栄に期待。営業本部の活用やトップセールスに期待。
- ・大阪万博パビリオンの住友4社の「未来のタネ」の情報入手をお願いしたい。
- ・誰も住まないのに市内にバンバンマンションやアパートを建てても、新居浜でマンションなんて資産にならない。
- ・メガソーラーのパネル廃棄、盗難、温度上昇等によるリスク。最終的に会社が撤退し撤去もできなくなる危惧あり。

<まとめ>

このたびのアンケートには、177名の皆様から貴重なご意見を頂戴しました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

今回のアンケート調査では、30代から70代までの年齢層の皆様を中心に、特定の地域に偏ることなく、バランスよくすべての校区の方からご意見を伺うことが出来ました。

まず、テーマ①の新居浜市に力をいれてほしい政策については、「子育て支援の更なる充実」をあげる声をもっとも多く、次いで、「公共交通の充実（バス・デマンドタクシーなど）」、「働きやすい環境の整備」、「教育力の向上」を求める意見が多くなっていました。

また、テーマ②の古川市長が掲げる公約の中で早期に実現してほしいものについては、「みらいの学校づくり（施設の老朽化対策や空調設備の導入）」をあげる声をもっとも多く、次いで、「学校、教員サポート制度の充実（コーディネータ配置）」、「災害発生後の復旧スピードアップのための事前復興計画の策定」、「近隣にはない文化施設機能を有したアリーナ建設」を求める意見が多くなっていました。

今回のアンケート調査を通じて、子育て支援の充実や、教育力の向上、みらいの学校づくりといった、次世代の新居浜市を担う、若年世代への投資に注力すべきと考えている市民（市政モニター）が多いことが分かり、こうした市民の皆さん思いを、現在作業を進めております「第六次新居浜市長期総合計画」の中間見直し作業にもしっかりと反映させていきたいと考えております。

市政モニターの皆様におかれましては、引き続き、市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。今回はアンケートにご協力くださり、心より感謝申し上げます。

（担当課：総合政策課）



©NPO 法人新居浜まちゃり隊

テーマ② 地区別人権教育市民講座について

【調査趣旨】

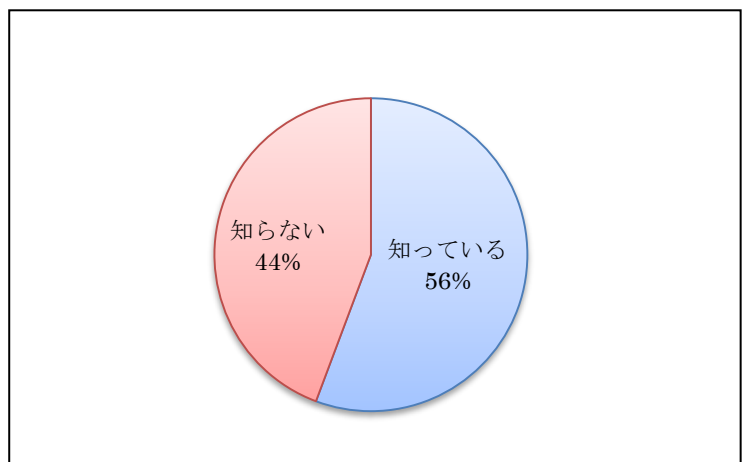
新居浜市では、様々な人権問題の解消に向けて、身近に潜む差別に気づき、解消に向けて取り組む意欲を高めるとともに、人権が尊重される家庭・地域・職場づくりを推進していくための学びの場を提供すること等を目的として、地区別人権教育市民講座等を開催しています。このアンケートでは、本講座についての市民の皆さまの認知度や、参加への意欲を高める方法、活動内容の充実のヒント等を調査したいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

(担当課：人権教育課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 「新居浜市地区別人権教育市民講座」を、ご存じですか？（1つ選択）【必須】

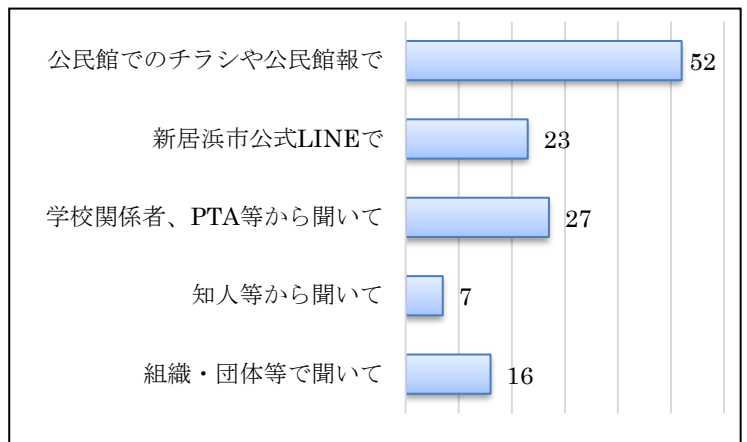
1. 知っている	78 人
2. 知らない	62 人
合 計	140 人



「1. 知っている」(78 人)と答えた方が「2. 知らない」(62 人)と答えた方を上回り、半数以上の方が知っているという結果となっています。

問3. 問2で「1. 知っている。」を選択された方にお伺いします。何によって「新居浜市地区別人権教育市民講座」を知りましたか？（複数選択）

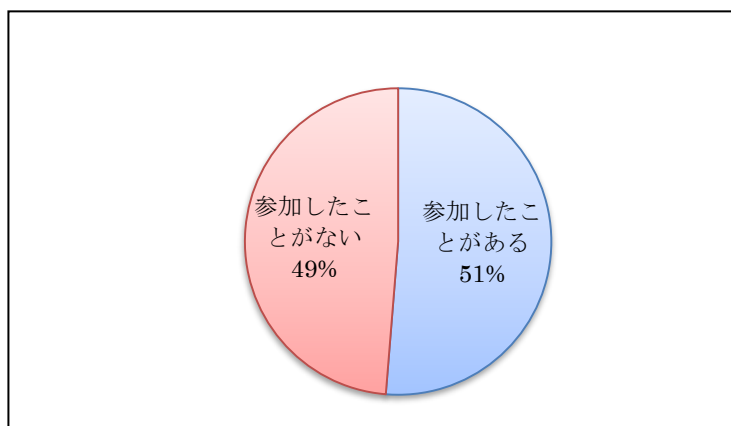
1. 公民館でのチラシや公民館報で	52 人
2. 新居浜市公式 LINE で	23 人
3. 学校関係者、PTA 等から聞いて	27 人
4. 知人等から聞いて	7 人
5. 組織・団体等で聞いて	16 人



新居浜市地区別人権教育市民講座を知った情報媒体として最も多くあげられたのは、「1. 公民館でのチラシや公民館報で」(52 人)で、続いて「3. 学校関係者、PTA 等から聞いて」(27 人)、「2. 新居浜市公式 LINE で」(23 人)という結果となっています。

問4. 問2で「1. 知っている。」を選択された方にお伺いします。「新居浜市地区別人権教育市民講座」に参加したことはありますか？（1つ選択）

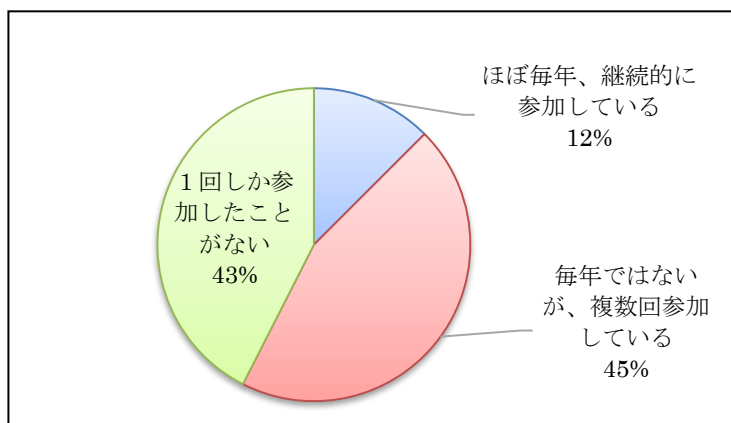
1. 参加したことがある	40 人
2. 参加したことがない	38 人
合 計	78 人



「1. 参加したことがある」(40 人) と答えた方が 51% で、「2. 参加したことがない」(38 人) と答えた方をわずかに上回る結果となっています。

問5. 問4で「1. 参加したことがある。」を選択された方にお伺いします。初回参加後に、継続的に参加していますか。（1つ選択）

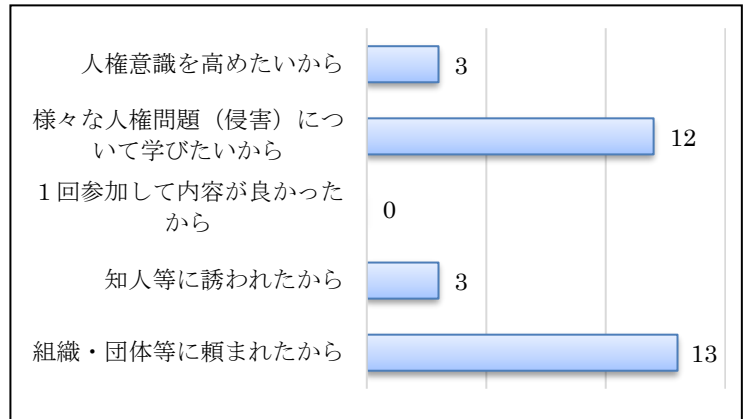
1. ほぼ毎年、継続的に参加している。	5 人
2. 毎年ではないが、複数回参加している。	18 人
3. 1 回しか参加したことがない。	17 人
合 計	40 人



「2. 毎年ではないが、複数回参加している。」(18 人) と答えた方が最も多く 45% で、次いで「3. 1 回しか参加したことがない。」(17 人)、「1. ほぼ毎年、継続的に参加している。」(5 人) となっており、複数回以上参加している人は全体の 57% で、半数以上の人が多回数参加しているという結果となりました。

問6. 問5で「1. ほぼ毎年、継続的に参加している。」又は「2. 毎年ではないが、複数回参加している。」を選択された方にお伺いします。複数回参加している理由として該当する項目を選んでください。(複数選択)

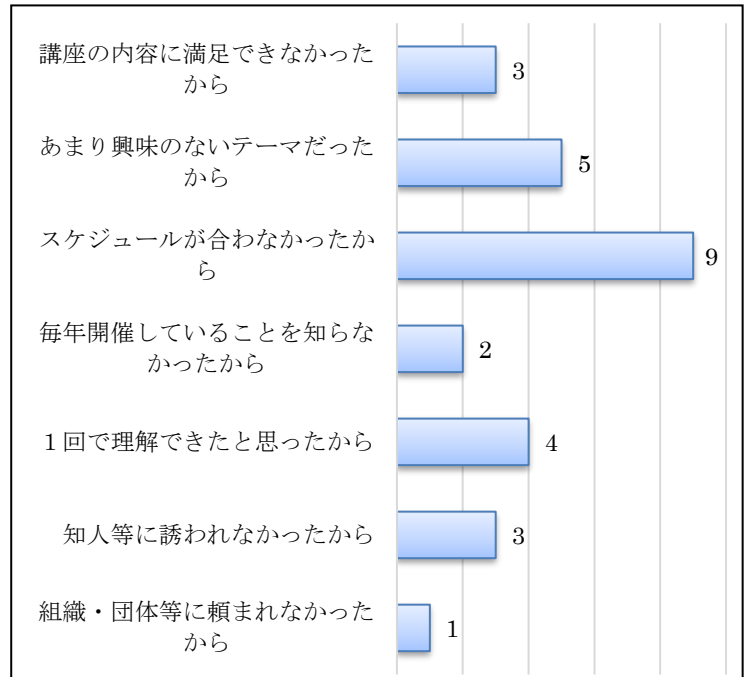
1. 人権意識を高めたいから	3 人
2. 様々な人権問題（侵害）について学びたいから	12 人
3. 1回参加して内容が良かったから	0 人
4. 知人等に誘われたから	3 人
5. 組織・団体等に頼まれたから	13 人



複数回以上参加している方の理由として多く選択されたのは「5. 組織・団体等に頼まれたから」（13人）が最も多く、ほぼ同数で「2. 様々な人権問題（侵害）について学びたいから」（12人）も多く選択されています。

問7. 問5で「3. 1回しか参加したことがない。」を選択された方にお伺いします。2回目以降参加していない理由として該当する項目を選んでください。(複数選択)

1. 講座の内容に満足できなかったから	3 人
2. あまり興味のないテーマだったから	5 人
3. スケジュールが合わなかったから	9 人
4. 毎年開催していることを知らなかったから	2 人
5. 1回で理解できたと思ったから	4 人
6. 知人等に誘われなかったから	3 人
7. 組織・団体等に頼まれなかったから	1 人



1回しか参加したことがない方が2回目以降参加しない理由として最も多く選択されたのは「3. スケジュールが合わなかったから」（9人）で、次に多く選択されたのは「2. あまり興味のないテーマだったから」（5人）、「5. 1回で理解できたと思ったから」（4人）という結果になりました。

問 8. 問 4 で「2. 参加したことがない。」を選択された方にお伺いします。「新居浜市地区別人権教育市民講座」を知っていたけど参加しなかった理由を教えてください。 例：必要性を感じなかったから、スケジュールが合わなかったから、内容が難しそうだったから等（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・人権教育は大切な事であると判っているが、「まあいいか」という気持ちで参加していない。
- ・スケジュールが合わなかった。（複数意見あり）
- ・小学校の PTA 活動で知ったが、参加対象の活動部ではあったが、部から一人の参加で良かったため、当時子供も小さいし、お願いできる人に参加してもらったため。
- ・「人権教育講座」と聞けば大変難しく思われ、我々市民にとっては生活していく中で、何の不自由もなく何の不平も、何も思い当たることが無く、何も感じないから気に留めず見過ごし参加しなかった。今度は是非参加したいと思っている。
- ・人権教育は不要だと思います。
- ・オンライン、録画等の配信を希望します。
- ・他人に悪意を向けることがないから。
- ・中学生のときに似たような講座を聞いていて、ある程度理解したと思ったから。
- ・今更知りたくない、ほっておきたい、の思いが強く参加しなかった。
- ・学校関係の教職員や、人権教育活動を中心となって取り組んでいる方たちが行くイメージがあり、強い意識をもっていない人が参加するには場違いな気がする。もし当てられたり、グループディスカッションがあるなどして自分の意見を求められたら困るから。
- ・公民館にあったチラシや LINE でいつどこで誰が何時から開催するのかは見たように思うが、なんのためにどんな目的で開催するのかはわからなかった。
- ・文章で読めば十分。
- ・活動自体を知る機会がなかった。もし目に入っていたとしても、自分に関心がなかったか、魅力を感じにくいものになっていたのかと思います。
- ・アパートは市報を置いているポストが取らない人が多く、取らない人のせいか、いつしか無くなり、どうせ古いのが入っているのだろうといつしか見なくなった。市報すら見ていない取りに行ってみます。

問 9. 市では現在、公民館でのチラシ配布、自治会の広報塔、新居浜市公式 HP や公式 LINE 等を活用して、「新居浜市地区別人権教育市民講座」の開催を周知しています。より多くの市民の方に周知する方法として効果的と思われるものを教えてください。 例：市政だよりへの掲載、自治会回覧版による回覧、図書館等利用者が多い施設へのチラシ設置等（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告ではいただいた回答をもとに集約した結果を掲載します。

【周知媒体に関する意見】

■ よく挙げた媒体（複数名から言及あり）

- ・市政だより
掲載を希望する声多数。「分かりやすい」「頻繁に読む」という声あり。
- ・自治会回覧板
「目に留まりやすい」「手元に届く」として評価。未加入世帯もある点に注意が必要。
- ・公民館だより／施設でのチラシ設置

利用者が多い施設や公民館へのチラシ掲示が効果的という意見。

- ・スーパー・ドラッグストア・イオンなどの商業施設

「誰もが行く場所」「人が集まる場所」での掲示や配布。

- ・ホージャ・マイタウン（フリーペーパー）

折り込みチラシとして単体で配布する形式が効果的。

- ・市公式 LINE・Instagram・SNS

若い世代向けに SNS 活用を求める声が複数。インスタの活用が特に有効との意見あり。

- ・市役所ホームページ／ネット検索

Google 検索で引っかかる工夫をすべき。

- ・ケーブルテレビ・町内放送・広報塔（スピーカー）

地域に根ざした放送も引き続き有効。

- ・学校からの配布物

保護者に届きやすく、親子参加への導入にも。

■ その他の媒体

- ・図書館（ポスター・チラシ設置、移動図書館で配布）

- ・病院の待合室（閲覧できるように）

- ・ローカルテレビ番組

- ・YouTube での情報発信

- ・タウンメール（郵便）での案内

- ・企業・職場での呼びかけ

【2. 周知の方法・工夫】

- ・ポスターやチラシのデザイン

「明るくカラフルに」「目を引くように」「かたくるしく見えないように」

- ・手渡しや声かけの重要性

施設スタッフによる声かけ、イベントでの直接案内など、「意識づけに繋がる」。

- ・講座の内容を事前に伝える

「過去に好評だったテーマや講師を紹介」「具体的に役に立った例を紹介」すると参加者増に繋がる。

- ・SNS や LINE の通知機能

「何かを見ているついでに目に入る形が良い」

【3. 対象者への配慮やターゲティング】

◆ 若い世代向け

インスタグラムが有効。LINE や SNS 通知が日常的に使われている。

◆ 高齢者向け

紙媒体や町内放送、フリーペーパーが有効とされる。

◆ 自治会未加入世帯への対策

「各家庭のポストへ直接配布」「自治会未加入者に届く媒体（タウン誌など）」を活用すべきという声あり。

◆ 親子で参加しやすく

「学校での周知」や「参観日との連携」など、家族で参加できる講座の工夫も必要との意見。

◆ 全体的な多様化への対応

「それぞれがよく見る媒体は違う」「多様な媒体での周知が必要」との包括的な意見。

【4. 現状への意見・改善提案】

* 周知はすでに十分との声も

「現状でもチラシ等で充分周知されている」「今の方法でよい」とする意見も少なくない。

* 市政だよりや回覧板の限界

「配布数の減少」「自治会未加入者の増加」で効果が薄れているという指摘も。

* 人権教育自体への考え

- 人権について考えていない人への届け方に課題がある。
- 道徳心や倫理観が基盤であり、「学ばない方がよい人もいる」との意見も一部あり。

* 講座の存在意義への問い

「興味がなければ参加しない」「必要とする人が少ないなら方法を見直すべき」といった意見も。

問 10. 「新居浜市地区別人権教育市民講座」に参加したくなる方法として、効果的と思われるものを教えてください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

1. 話題性のあるテーマや講師の起用

- ・有名人の人権問題の取り上げが良いと思います。
- ・芸能人とかTV でよく見かける人を講師に呼ぶ。
- ・TV 等での人権問題の取り上げ、過去と現在の違いについて紹介する。
- ・話題性が欲しいです。TV ニュースや関連番組の紹介なども参加率アップにつながると思います。
- ・ニュース等で話題となった人権問題を取り上げていただくと、より注目できると感じます。

2. インセンティブ（あかがねポイント・記念品・グッズなど）

- ・参加者にあかがねポイントを進呈する。
- ・来場者に記念品を配る。
- ・市民ポイント制度など、他のイベントと連携して得点付与・講座修了証など、市民としてのモチベーションを評価する制度にしてほしい。
- ・メジャーな会社と組んで、少し高価な報奨で参加意欲を高める。

3. 親しみやすい雰囲気・内容にする工夫

- ・講座の名前をもっと考え直して、参加してみたいと思わせるものに。
- ・名称がかたい。もう少し柔らかい名称にする。
- ・難しい言葉を使わない、誰にでも分かりやすい内容に。
- ・話が堅苦しくなく、でもしっかり学べるような劇のような講座だと参加しやすい。
- ・あまり重いテーマでなく、わかりやすく取り組みやすい題材で、ロコミで広げられるように。

4. 身近な題材の取り上げ

- ・参加者にとって身近な問題、全国的に注目され話題になっている問題を取り上げる。
- ・身近な地域での問題を取り上げる。
- ・自分にも過去に起こったことがあったような出来事のショートムービー（例：身体的・性格的なことでの評価、金銭的な差別）。
- ・差別がわからない。普段、みんなが当たり前のように話していること自体が差別だったり、人権の問題になりうることを認識できる講座にしてほしい。

5. 周知・PR の工夫

- ・講座の内容を詳しく回覧等で知らせる。
- ・内容の詳細と参加者の感想を多く取り上げる。
- ・チラシやLINEで、パッと見てわかるようにする。
- ・講座のテーマ、内容をできる限り誰もが興味を持てるものとして、予め知らせ広める。
- ・講座内容、スケジュールを明確に知らせる。
- ・講座の実施時に、講座の基本内容をわかりやすく記載する。
- ・その講座が何か知らないのも、目的・内容・対象・参加方法・開催日時・場所を知らせる必要がある。

6. 会場・アクセスの工夫

- ・アクセスしやすい場所（バス停や駅で利用できる）。
- ・大型スーパー等の催事スペース、ホールの通りがかりの人でも聞ける場所で開催。
- ・地区別ではなく広いホールなどで開催する。

7. オンライン・デジタル活用

- ・オンライン講座（途中退席OK）。
- ・リモートで視聴可能であれば嬉しい。
- ・オンライン講座、もしくはインスタライブ・YouTubeなど。
- ・リモートでも参加できる。時間を問わず録画等を視聴することで参加できる。

8. 対象者・時間帯・環境配慮

- ・子どもと一緒に参加できる配慮や環境づくり。
- ・親子での参加。
- ・子どもを巻き込み、学校行事の一つにしてしまう。
- ・高齢者歓迎、介護体操などの同時開催。
- ・社会人歓迎、19時以降に開催し名刺交換会などを。
- ・もう少し早い時間帯に、子どもを見ながら耳を傾けるような会にすると参加しやすい。

9. 参加者の不安を軽減

- ・その場で自分の意見を求められない保証があれば参加してみたい。
- ・自分が聞きに行ってもいいのか不安になる人がいると思う。対象者を決めて推奨するのもよい。
- ・誰がターゲットなのかわからないので、チラシを見ても自分には必要ないと思って参加しない。そこを説明する必要がある。

10. 講座の意義・効果の周知

- ・講座を行ったことにより、どのような効果があったか具体的に紹介。
- ・人権教育がなぜ必要なのかをあらかじめ周知し、講座に参加する意義や効果を実感できるようなアピールを。
- ・教育の目的に共感できれば参加したくなる。共感しやすい説明をしっかりと伝えること。
- ・参加者のアンケート結果の紹介。

11. その他の提案・意見

- ・新居浜関連の記念品（例：太鼓台ステッカー・まつりグッズ・市のマークの付箋など）があると良い。
- ・イベント等での呼びかけ。
- ・中高生をもっと巻き込む。
- ・様子が写真や動画で確認できると参加しやすい。
- ・他の自治体（企業）はどのように実施しているか調べてみては。
- ・内容の精選（回数を少なくして）。
- ・企業研修として取り入れてもらう。

12. 否定的な意見・無回答

- ・講座を取りやめたところで、誰も困らないと思います。
- ・何か対価が支払われても興味がわからない人のほうが多いと思う。

<まとめ>

新居浜市では、様々な人権問題解消に係る意欲の向上を図り、人権が尊重される家庭・地域・職場づくりを推進していくための学びの場の提供を目的として、毎年市内の全地区で「地区別人権教育市民講座」を開催しています。

アンケートの結果では、本講座の知名度としては、半数超の56%の方が知っており、知った媒体としては、「公民館でのチラシ等」が最も多く、次いで「学校関係者からの情報提供」、「市公式LINE」という結果でした。

また、講座を知っていた方の内、約半数の方が不参加であり、その理由として「講座の目的が分からない」「意見を求められると困る」等が見受けられたことから、講座の目的や具体的な進め方等を明確に広報することにより、参加に対するハードルを下げる必要があると考えられます。

これまでに、講座に複数回参加したことがある方の参加理由としては、「組織等に頼まれたから」が最多でしたが、「様々な人権問題について学びたいから」もほぼ同数であったことから、より一層のテーマの拡充により、市民ニーズに応えていく必要があります。

そのほか、効果的な周知方法として「市政だより」「自治会回覧版」「Instagram」等の、これまで活用していなかった広報媒体等の提案をいただきましたので、活用の可否及び実施方法について、早速検討して参りたいと考えています。

最後に、参加意欲を高める方法として「講座の目的や内容の詳細な紹介」「写真等による講座の様子を紹介」「意見を求められない保証」といったご提案をいただきましたことから、講座開催に先立ち、より具体的な講座の紹介をすることで参加へのハードルを下げ、一人でも多くの方に本講座に参加していただき、本市市民の人権意識の底上げにより「あらゆる垣根をこえて、あたたかい心で交わり合うことのできる新居浜市」を実現させてまいりたいと考えております。

今回のアンケートへの回答及び貴重なご意見をくださいました市政モニターの皆さまに、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(担当課：人権教育課)



©NPO 法人新居浜まちづくり隊